

セキュアで快適な仮想デスクトップ環境を
迅速・柔軟・スマートに構築！

マネージド仮想デスクトップサービス 『楽DaaS』 (サービス説明資料)

2021年10月
日本ユニシス株式会社

目次

1 仮想デスクトップとは

2 マネージド仮想デスクトップサービス『楽DaaS』の紹介

3 適用例

4 まとめ

1

仮想デスクトップとは

デスクトップ仮想化の導入目的

Foresight in sight

デスクトップ仮想化は、セキュリティ対策やシステム管理の効率化だけでなく、ユーザーの利便性も向上します。

管理効率の向上

情報漏えい対策

働き方改革

管理効率の向上



仮想デスクトップはデータセンター等で一元管理されるため、管理面の効率が向上する

情報漏えい対策



クライアント端末側にデータを保持しないため情報漏えいの心配が少ない

働き方改革



場所やデバイスにとらわれず、いつもと同じデスクトップが利用できる

デスクトップ仮想化の導入目的

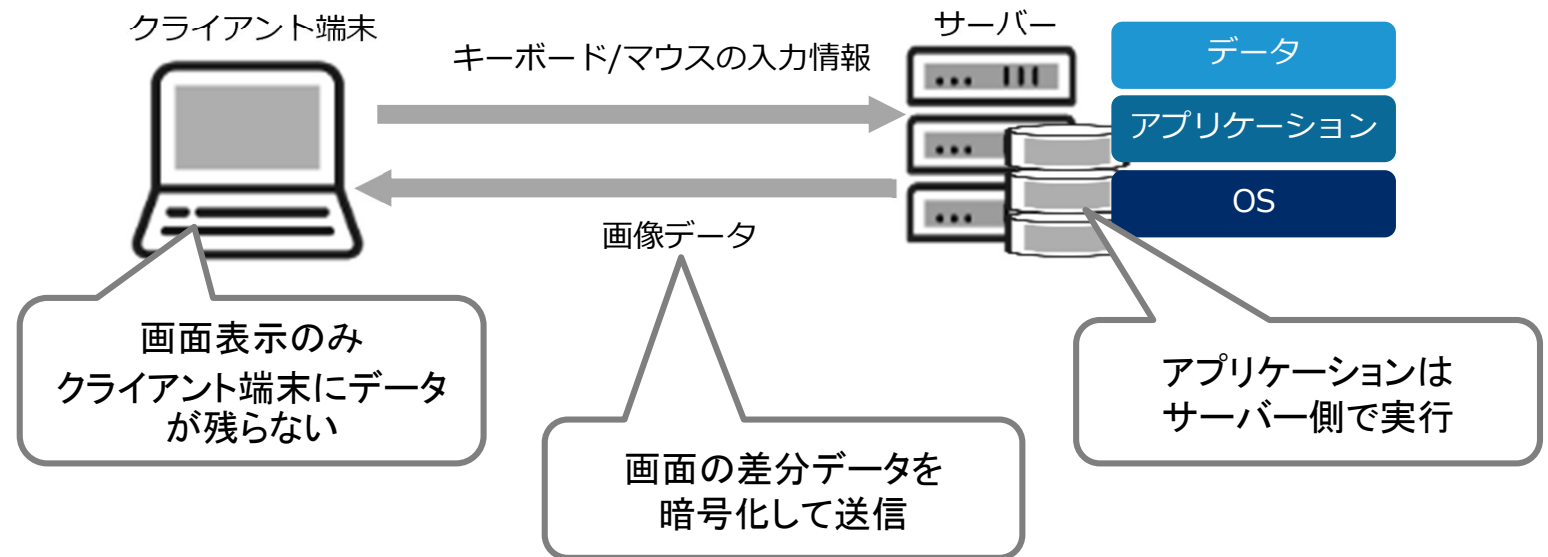
仮想デスクトップとは

Foresight in sight

デスクトップ仮想化とは、端末側にデータやアプリケーションを置かず、サーバーで実行し、管理する仕組みのことです。

端末からはキーボードやマウスの入力情報をサーバーに転送し、サーバーからの画面情報（画像データ）を受信し表示します。

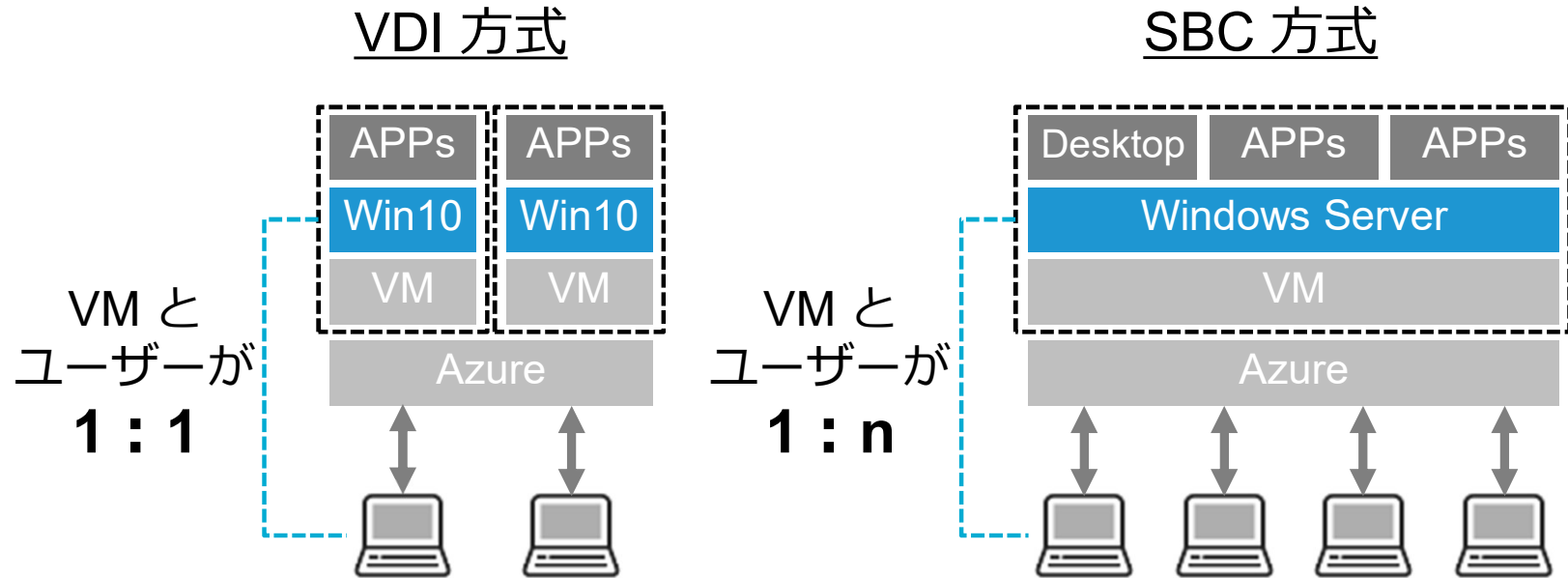
セキュリティと 利便性の両立



VDI (Virtual Desktop Infrastructure) 方式と SBC (Server Based Computing) 方式

Foresight in sight

アプリケーション
の互換性が高い
VDI 方式
・
優れたコスト効率
SBC 方式



- ✓ アプリケーションの互換性が高い
- ✓ ユーザー毎に独立したOS環境を提供可能
- ✓ SBC 方式に比べ高コスト
- ✓ ユーザー毎に利用するソフトウェアが異なる等、自由度の高い環境が必要な場合に選択される

- ✓ コスト効率が高い
- ✓ 管理の効率化が図れる
- ✓ アプリケーションがサーバーOSやマルチユーザーに対応している必要がある
- ✓ 特定のアプリケーションや各ユーザーが共通な環境を利用する場合に選択される

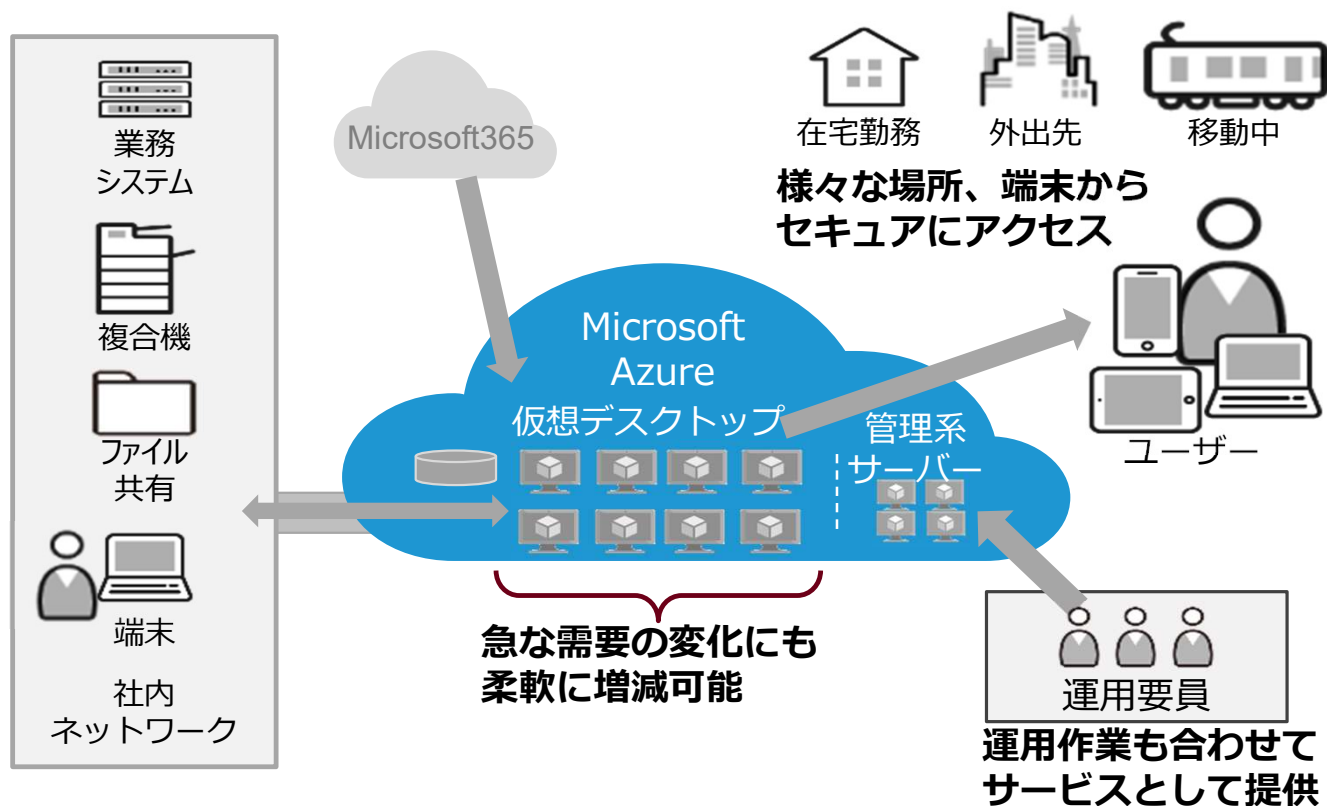
2

マネージド仮想デスクトップサービス『楽DaaS』の紹介

マネージド仮想デスクトップサービス『楽DaaS』とは

Foresight in sight

Azure上に構築された仮想デスクトップ環境とその運用サービスを合わせてご提供するサービスです。仮想デスクトップと運用サービスを利用型（月額料金）でご利用いただけます。



※2021年10月、「Citrix on Azure 運営サービス」は新たな機能を追加して、「楽DaaS」に名称を変更しました。

マネージド仮想デスクトップサービス『楽DaaS』とは

Foresight in sight

マネージド仮想デスクトップサービス『楽DaaS』には以下5つの特長があります。

初期コスト削減

利用型なので少ない初期投資でテレワーク環境が構築できます

高い柔軟性

必要に応じて規模の増減が可能
(依頼するだけで素早く増減)

運用サービス

煩雑な運用もサービスとして提供。
自社で専門要員を確保する必要がありません

アセスメント

機能面・価格面でお客さまに最適な選択を専門技術者が提案します

選べるソリューション

管理系サーバーをAzure Virtual DesktopまたはCitrix Cloudから選べます

仮想デスクトップ環境は構成要素が多いため、煩雑な運用管理が発生します。
楽DaaSに運用管理をお任せいただくことで、お客さま運用担当者の負荷を軽減します。

【運用管理の一例】

楽DaaSがお客さまに代わって運用

Windows Update 対応

稼働スケジュール
管理

Win10 ライセンス
調達

VDIのポリシー
設定/変更

リソース・パフォーマ
ンス・障害監視

バックアップ/
リストア対応

マスター VM の
バージョン管理

VDI の
アクセス権設定

管理サーバー
の設定/変更

VDI の増減対応

VDI の
障害対応支援

お客さまによる運用

VDI上のアプリの
導入/テスト/管理

VDI の障害対応

ユーザーアカウント
の増減対応

従来の仮想デスクトップに比べて、楽DaaSには以下のメリットがあります。

デスクトップ仮想化市場をリードする
ソリューション
Azure Virtual DesktopまたはCitrix Cloud



Microsoft
Window10 マルチセッション



仮想デスクトップにおける20年以上の
実績と経験 日本ユニシスグループ
運用サービス



- ✓ お客様の要件に応じて、管理系サーバーをAzure Virtual DesktopまたはCitrix Cloudから選択可能
- ✓ 環境構築が効率化され、お申込みからサービス利用までの期間を短縮
- ✓ バージョンアップにかかる期間／コストの削減



- ✓ Window10 マルチセッションを利用することが可能となり、必要な仮想マシンを減らすことでコストを削減



- ✓ 専門技術者によるアセスメントを実施し、お客様に最適なソリューションを提案
- ✓ システム監視やバックアップ等のシステム運用だけでなく、仮想デスクトップの増減やマスターVMの展開など仮想デスクトップ環境の運用まで提供

サービス構成とオプションサービス

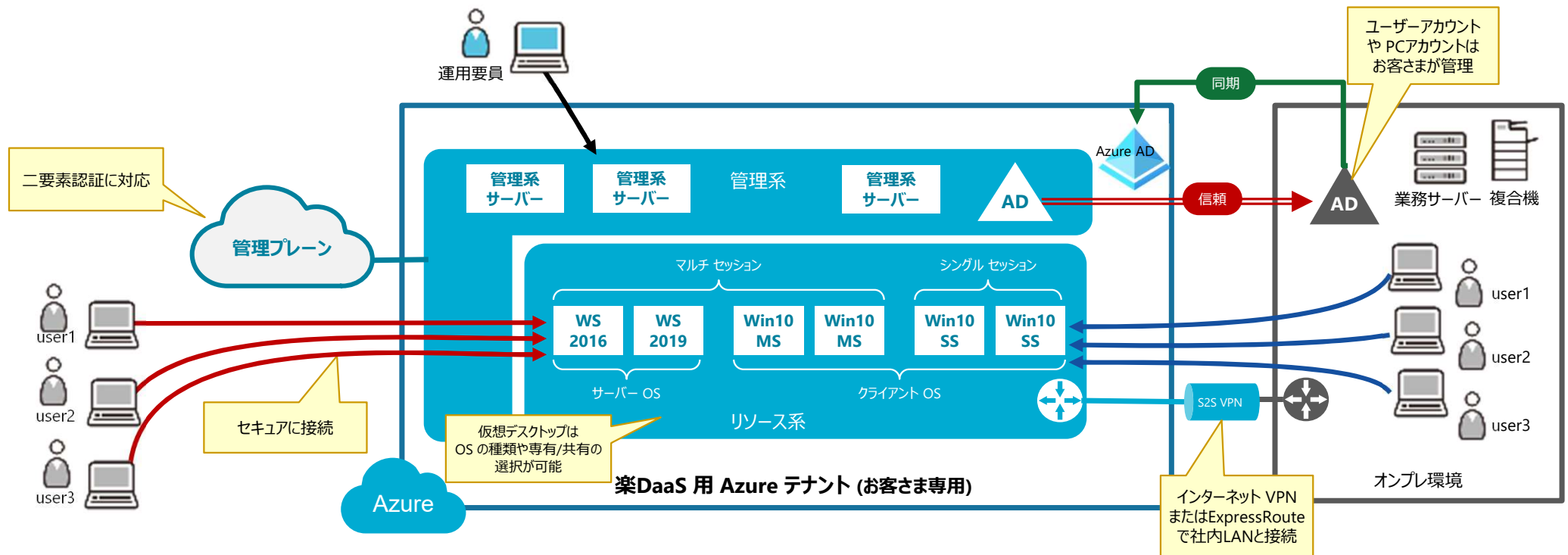
Foresight in sight

	VDI 方式	SBC 方式
アプリケーション公開	—	○
デスクトップ公開	○	○
固定型	○	—
プール型	○	○
OS	Windows 10 Enterprise	Windows Server 2016/2019 Windows 10 Multi Session
VMタイプ	Azureで提供される任意のVMを選択可能	
マスターイメージ	基本 1セット（オプションで追加可能）	
ウィルス対策	Windows Defender（標準）	
多要素認証	オプション	
社内NW接続	インターネットVPN接続、専用線（ExpressRoute）	
サービスデスク	受付：24時間、365日 対応：平日 9:00-17:00	

楽DaaS システム構成

Foresight in sight

仮想デスクトップには、インターネット経由、社内 LAN 経由、どちらからもセキュアにアクセスできます。Azure Virtual DesktopまたはCitrix Cloudを活用し、Windows10マルチセッションも利用できます。

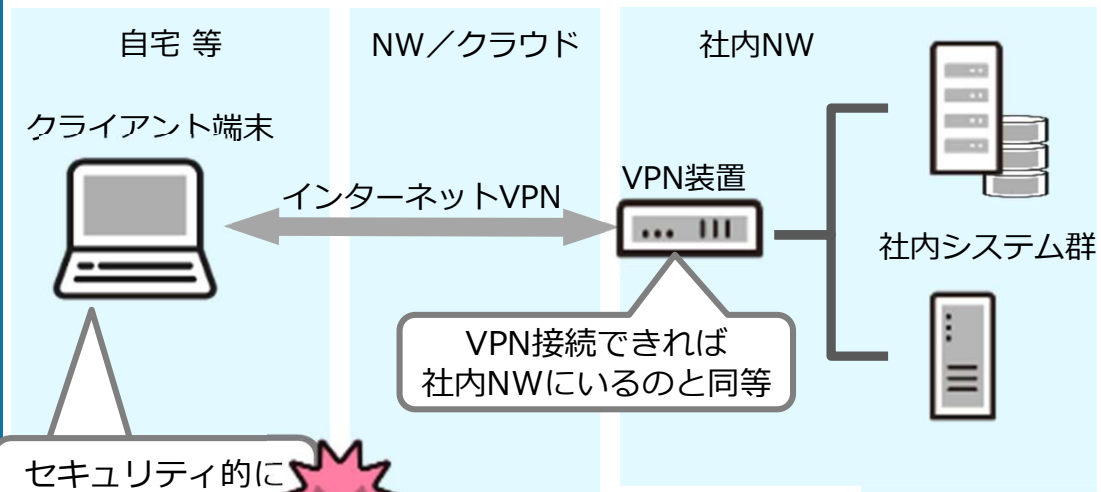


3

適用例

適用例①：テレワークにおけるリモートアクセス

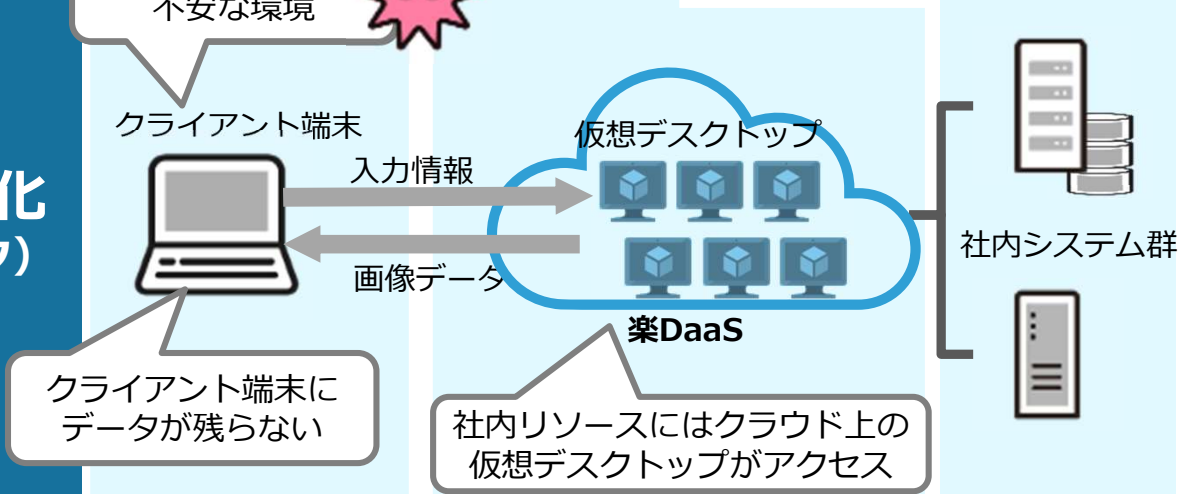
VPN 接続 (物理端末でテレワーク)



- ✓ 端末に機密データが残る可能性あり
- ✓ マルウェアが社内に広がる恐れがある
- ✓ 通常は会社管理の端末のみ接続可能

VS

デスクトップ仮想化 (仮想端末でテレワーク)



- ✓ 端末にデータが残らない
- ✓ マルウェアが社内に持込まれる可能性が少ない
- ✓ 様々な端末を利用することが出来る
- ✓ BYOD※も可能

※BYOD(Bring Your Own Device)とは、個人所有のスマートフォンやノートPCを業務で利用すること

適用例②：システム開発環境としての活用（1）

多拠点で柔軟な
システム開発環境を
提供するには？

ニューノーマルなシステム開発を実現するためには、在宅時やオフショアなどの多拠点での利用や柔軟な環境設定などの課題を解決する必要があります。

リモート開発への対応

- ✓ セキュアなアクセス手段の実現
- ✓ エンドユーザーにとっての操作性、利便性の確保
- ✓ 開発環境担当者の負荷軽減
- ✓ 情報漏えい対策

オフショア活用の拡大

- ✓ オフショア拠点における開発環境構築の負荷軽減
- ✓ セキュアな情報共有
- ✓ 情報漏えい対策

機敏で柔軟なシステム開発

- ✓ 開発プロジェクトの早期立ち上げ
- ✓ 開発負荷に応じた要員の柔軟な増減、体制の変更

適用例②：システム開発環境としての活用（2）

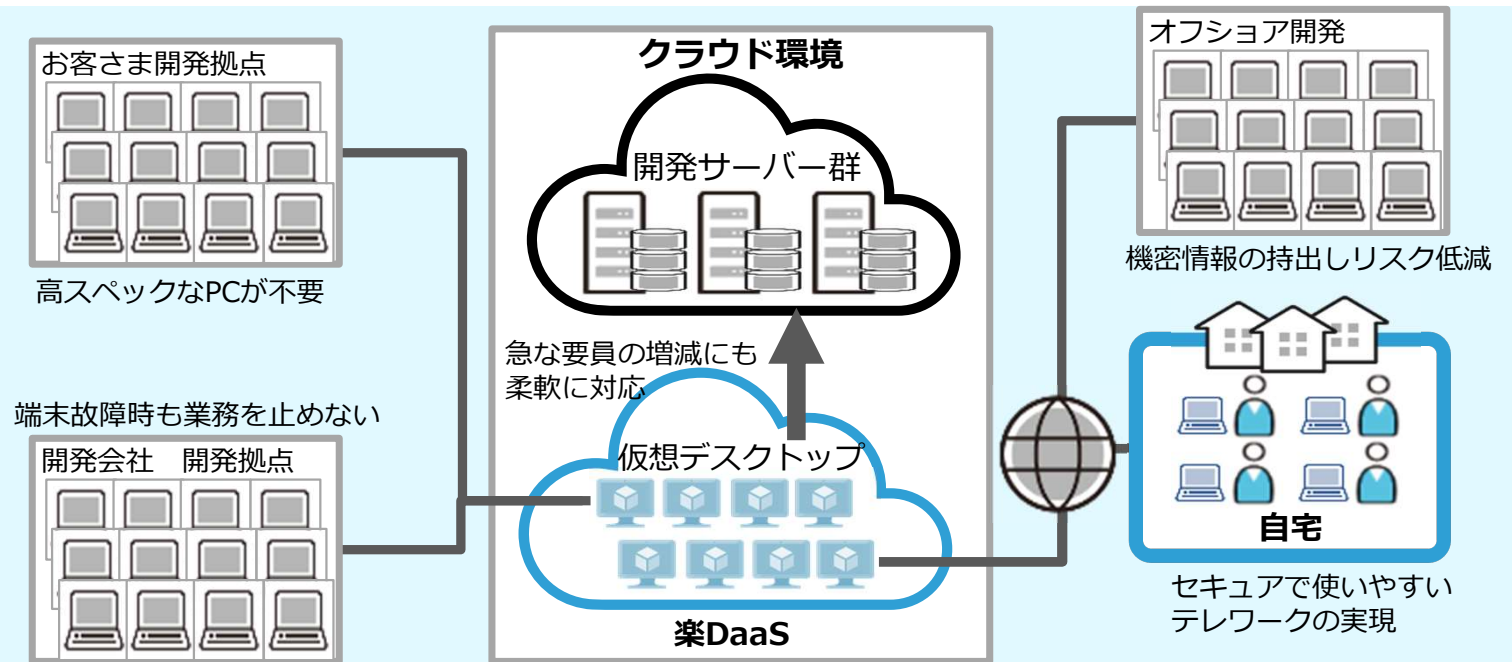
Foresight in sight

クラウド
+
デスクトップ
仮想化で解決

- ✓ サーバーの調達不要、開発拠点毎の環境構築も軽減されプロジェクトの早期立ち上げが可能
- ✓ デスクトップ仮想化でオフショア拠点や自宅からの情報漏えいリスクも低減
- ✓ 様々な場所／様々な端末を使いセキュアかつ利便性を確保した業務の遂行
- ✓ 開発要員の急な増減にも柔軟に対応でき、ハードウェアの調達・管理コストを軽減し、コストの最適化を実現

変化に対応可能な
柔軟性

セキュリティと
利便性の両立

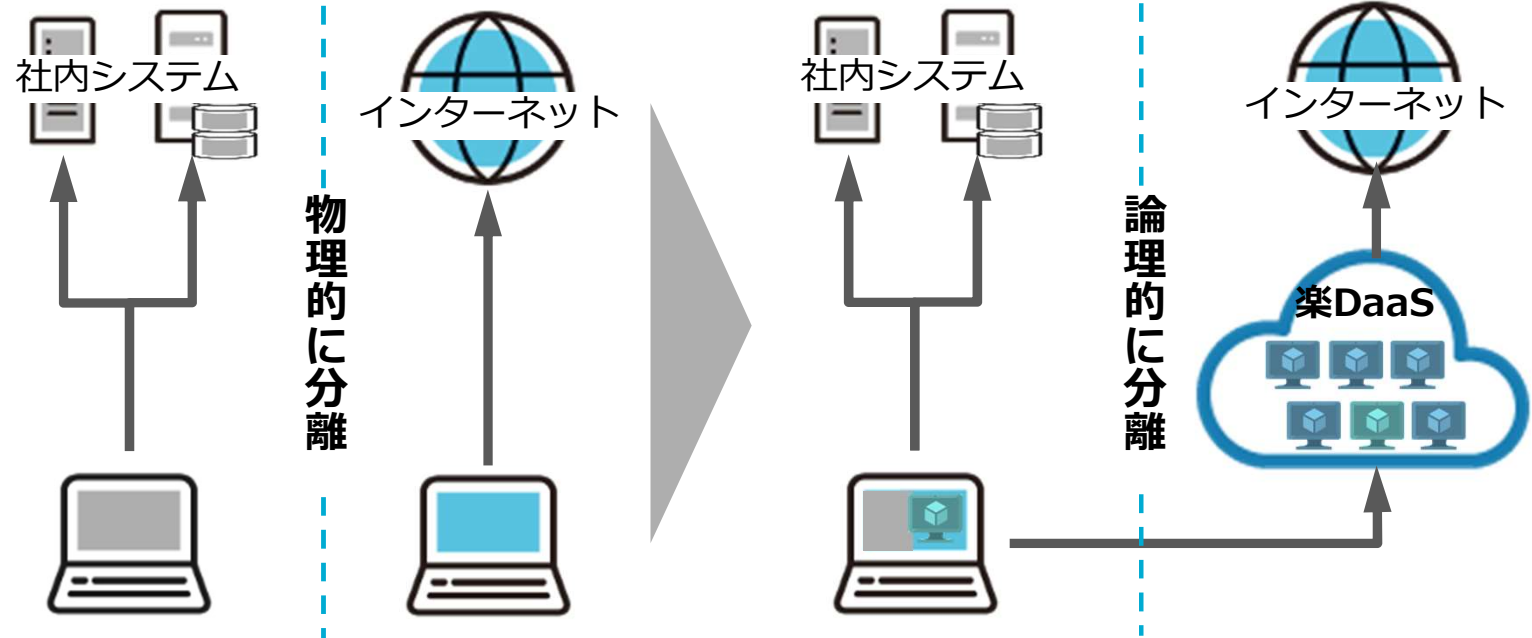


適用例③：インターネット分離でセキュリティ強化

Foresight in sight

金融機関や政府・自治体、医療分野ではインターネット利用に関する強固なセキュリティが求められます。

セキュリティの強化と規制対応
安全で便利なインターネット利用



ネットワークや端末を物理的に分離し、それぞれの端末で業務を行う。

- ✓ 端末台数が増えるためコスト増となる
- ✓ 端末の使い分けや場所の移動など業務効率が低下

インターネット接続には仮想デスクトップを利用し、論理的に環境を分離する。

- ✓ ユーザーの利用端末は1台のみ
- ✓ 端末の使い分けなどがなく利便性向上

4

まとめ

✓セキュリティの向上

✓どこからでもアクセス

✓様々なデバイスの活用

✓運用負荷の軽減

セキュリティの向上

- 画面転送型のため、端末にデータが残らない
- 端末を万が一紛失しても、情報が漏洩しない
- 端末がマルウェアに感染しても、社内システムに広がる可能性が極めて低い

どこからでも自分のデスクトップに接続可能

- 外出先／出張先／自宅等からでも、自分のデスクトップ環境にアクセスできる
- 重要なファイルにも安全にアクセス可能
- 会社の業務システムも利用可能

様々なデバイスの活用

- 在宅勤務：
自宅 PC から安全にアクセス可能
- 移動時：
スマートフォンやタブレットからもアクセス可能
- サテライトオフィス：
モバイル用のノートパソコンからもアクセス可能

運用負荷の軽減

管理系サーバーの運用だけでなく、マスターVMへのセキュリティパッチの適用や展開、ユーザー割り当て等、仮想デスクトップの利用に関わる煩雑な運用作業から解放（楽DaaSが実施）

ご質問、お問合せ等は下記窓口までお願いします。

日本ユニシス株式会社 Techマーケ&デザイン企画部 デジタルワーク担当

E-mail : d19n-box@ml.unisys.co.jp

- * 楽DaaS は、日本ユニシス株式会社の商標です
- * Citrix、Citrix Virtual Apps、Citrix Virtual Desktops、Citrix Cloudは、Citrix Systems, Inc. の米国あるいはその他の国における登録商標または商標です。
- * Microsoft、Azure、Windows、Windows Server System、Azure Virtual Desktopは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- * Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- * その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

日本ユニシス株式会社は、2022年4月より
ビプロジー
BIPROGY株式会社 へ。



BIPROGY



Foresight in sight

UNISYS